

経営比較分析表（令和6年度決算）

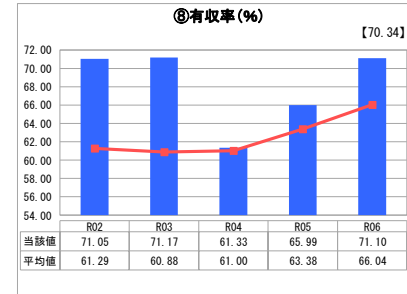
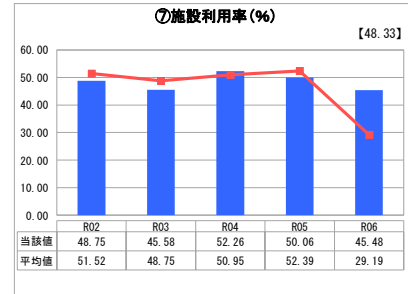
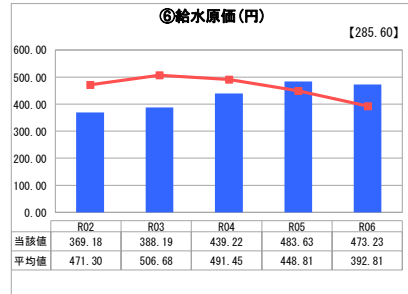
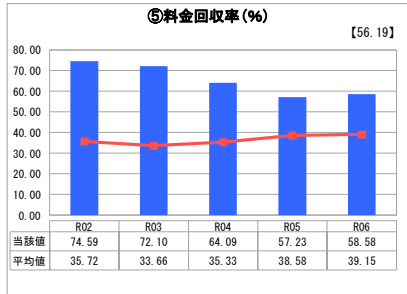
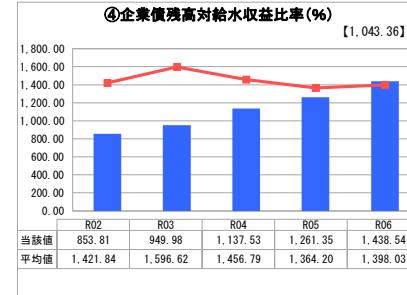
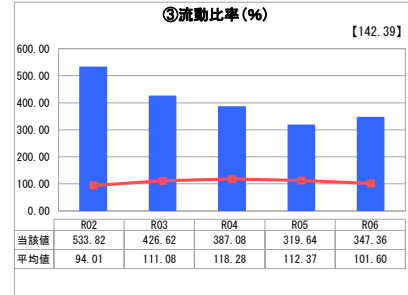
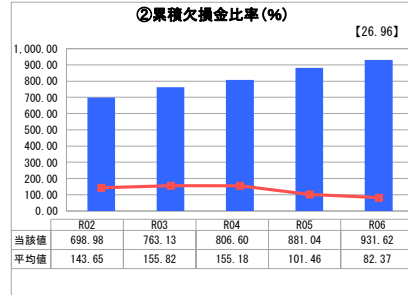
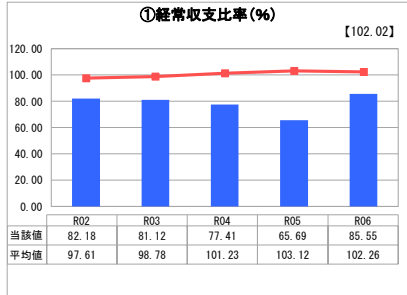
北海道 北竜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	33.87	97.26	5,410	

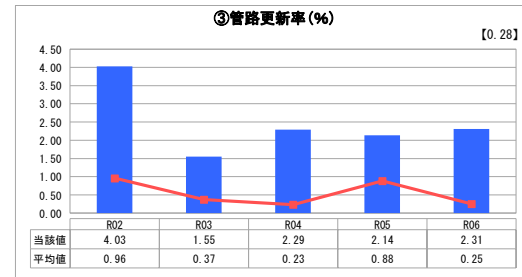
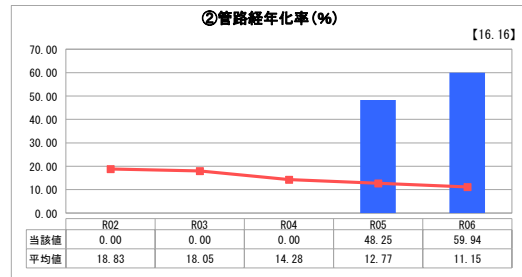
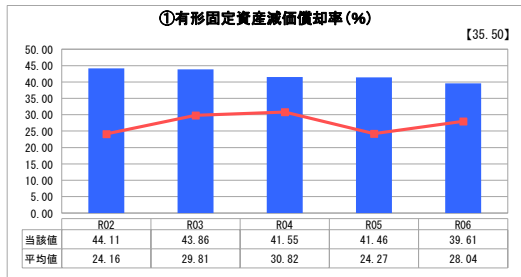
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,593	158.70	10.04
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,528	31.00	49.29

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営状況は赤字状態が続いており、累積欠損金が増加傾向にあり、他の類似団体と比べても多く、厳しい状況が続いています。しばらくの間施設の更新は行っておらず、修繕等で運営してきましたが、H28年度より生活基盤近代化事業により管路施設及び電気計装設備の更新を実施しております。これにより今後企業債償還金の増加となる見込です。料金回収率は他の類似団体と比べ高くなってはいますが、100%を下回っているため料金だけでは収入不足となっています。給水原価は他の類似団体よりも高くなっており、受水費や漏水修理等の維持管理費の増加によるものと考えられます。有収率については継続的に漏水調査や施設の更新を実施しておりますが、近年は道路横断管での漏水が発生しており60~70%台となっています。

2. 老朽化の状況について

S55年度より管路施設の工事を開始し、H10~H12年に機器の更新及び地区の一部の管路施設を更新していますが、その後は修繕で対応しています。しかし30年以上経過している管路もあり、漏水が増えている状況であります。H28年度からは生活基盤近代化事業により一部補助金を財源として配水管の及び電気計装の更新工事を実施しています。

全体総括

水道事業は重要なライフラインであり、住民生活に欠かすことのできないサービスです。水道水の安定供給を図る上で、継続的な施設更新事業が必要ですが、人口減少に伴う料金収入の減少による経営環境の悪化が予想されることから、中長期的な視点に立った更新整備計画の立案が必要となります。今後の更新計画・財政計画についてはR3に経営戦略の見直しを実施し、収入の増加に向け料金改定を検討し、経営健全化の維持管理に向け計画的に事業を進めていくことを目指します。